



障害社 研修通信

皆様

お疲れ様です。研修のお知らせになります。

皆様のスキル向上に役立つような研修を実施して参ります。

研修を受講希望の際は、TUNAG の制度「研修日程/申込/問合せ/レポート提出」から、または人事部人財育成課へメール・お電話にてお申し込みください。下記に掲載する研修の中には、各自で申し込みや事前登録が必要な研修もございますのでご注意ください。

興味のある研修や取り入れてほしい研修などがございましたら人事部人財育成課までご連絡ください。

※当社は訪問介護における特定事業所加算Ⅰを取得しています。加算取得にはいくつかの要件があります。その1つに「介護支援専門員に対し、計画的に研修を実施していること」と明記されており、ヘルパー・スタッフの皆様は年1回以上の受講が必須となっています。加算を取得することが、皆様の給与・福利厚生を維持することにつながっています。

★研修受講について★

今年度も年1回以上、6月30日までの研修受講にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。1年間（9月～翌年8月）に「全体研修」「自宅研修」「読書・DVD研修」等、すべてを合わせ4回まで受講することが可能です。

研修レポートは下記 Google フォームから電子入力でご提出ください。

<https://forms.gle/5L8YTUGiZio7ARmu9>

※紙媒体のレポート用紙をご希望の方は人事部人財育成課までご連絡ください。（問い合わせ先は最下部に記載）

※Web研修など外部研修・自宅研修・読書研修等を受講する際の注意点

1. ヘルパー・スタッフの方は介助勤務時間外に受講してください。
2. 月の休日が4日以上になるように日時を設定してください。
3. 受講は9時～22時の時間内をお願いいたします。

★2025年1月・2月の研修★

「フォローアップ研修」

日時：2025年1月21日（火）15:00～17:00

講師：江良 大輔、伊藤 正太郎（人財育成課）

会場：当社会議室

対象：PA 従業員研修を受講済みの従業員

内容：当社では入社して間もない時期に PA 従業員研修という研修で、社是・経営理念に基づいた働き方、心構え、事例検討を受講後、それぞれの現場にてご活躍いただいていることと思います。しかし、半年、一年と経過していくと最初に教わったことなどは忘れてしまうこともあるかもしれません。ご自身の現状を確認し、改めて基本に立ち返り、気持ちを新たに取組んでいただけるような研修をご用意いたし

ました。これまでに PA 従業員研修を受講済の方が対象になります。

「感染症対策研修」

日時：2025年1月30日（木）13:00～15:00

講師：勝村 亮太郎さん（第二種衛生管理者）

会場：当社会議室、ZOOM

対象：全従業員

内容：アフターコロナと言われるようになって久しいですが、いまだに新型コロナやインフルエンザの感染は完全に収まってはおらず、その他に手足口病やマイコプラズマ肺炎なども増加傾向にあるそうです。また、夏場に流行するイメージがある食中毒ですが、冬の11月～2月にかけてもノロウイルスによる食中毒が多く発生する傾向が確認されています。基本的な感染症対策は年間通して必要になっており、それぞれの感染症ごとに対応も変わってきます。何よりもまず自分自身の身を守り、周囲に感染を広げないための対策を学びましょう。

「第1回 PA 従業員研修（旧 PAM 社員研修）」

講師：人事部人財育成課スタッフ

日時：2025年1月14日（火）10:00～12:00 当社会議室、ZOOM 併用

2025年1月17日（金）13:00～15:00 当社会議室、ZOOM 併用

2025年2月12日（水）13:00～15:00 当社会議室、ZOOM 併用

2025年2月20日（木）15:00～17:00 当社会議室、ZOOM 併用

対象：入社時の PA 従業員研修が未受講の方（但し、再受講希望も受け付けます。）

内容：PA 従業員研修（旧 PAM 社員研修）第1回目の内容を毎月研修として開催しています。社是・経営理念、社是実現の手段（SCM/SWM/三者は対等/愚行権の尊重）、マナーやルールを学びます。仕事でどうしたら良いか困った時の指針を学べる機会です。是非、ご参加ください。

「ニーズ・シーズマッチング交流会2024」

Web 版

https://www.techno-aids.or.jp/2024koryukai/web/hall/cms/#tab43_detial

日時：2024年10月1日～2025年1月31日まで公開

対象：全従業員

時給：時給は30分分支給いたします。

内容：障害者福祉の現場で必要とされる支援機器の開発において、障害者や支援者の「ニーズ」と、企業や研究者等の「シーズ（技術）」をマッチングする交流会になります。新しい福祉機器を学ぶ場になります。ウェブサイトでは展示される予定の製品がチェックできます。「Web 交流プラットフォーム」の中から企業または団体の出展情報を3つ閲覧し、レポートに全体的な所感をご記入ください。

「障害者と互いに理解し目指す共生社会 オンライン参加型研修」

日時：下記 URL ↓あるいは下記①～④の詳細をご確認ください。1月10日から2月13日までの間に5つの日程、4種類の講座があります。1つお選びください。

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/sabetsukaisho_yougo/kensyu.html

内容：こちらは障害と共生社会について理解を深める研修になります。

障害者は日常生活や社会生活の中で、自立や社会参加が妨げられてしまうことがあります。しかし私た

ちが障害や障害者を理解し、実際に障害のある方が店舗等を訪れた際の対応姿勢を学ぶことで、そうしたことは防げることがあります。講師は障害に携わる関係団体が努めます。障害当事者の体験談や接遇の話などリアルな声を聞くことができます。全てオンラインのリアルタイム参加型研修です。研修を通して、共生社会の実現のために、私たちができることを探してみませんか？

対象：全従業員

参加費：無料

時給：最大3時間分まで支給いたします

申し込み：ご自身で下記 Web フォームもしくはお電話（下記問い合わせ先）にてお申し込みください。

申し込み後、人事部人財育成課にもご連絡ください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdrg3hSXtrliK5DMyd5oIVw9dyyNOy4a5m-OQXnNjRwsVYR_w/viewform

注意点：申し込みの際、「所属（会社名等）」を答える箇所がありますので「株式会社障害社」とお答えください。申し込み締め切り日は開催日によって異なります。下記①～④の開催内容詳細に締め切り日を記載していますのでご確認ください。申し込み受付は先着順とし定員になり次第締め切りますので、ご興味あるものはお早めにお申し込みください。

問い合わせ：[主催] 東京都福祉局 [東京都受託企業] 株式会社アカンパニーテクノロジーズ

TEL：050-5810-4080

① 「障害平等研修(Disability Equality Training:DET)」

日時：令和7年1月27日（月）13時～15時50分 ※申し込み締め切り 1月20日（月）

令和7年2月13日（木）13時～15時50分 ※申し込み締め切り 2月5日（水）

講師：障害平等研修フォーラム 認定 A ファシリテーター

石川 明代（令和7年1月27日）、谷内 孝行（令和7年2月13日）

内容：障害平等研修（DET）は、「障害の社会モデル」に基づき、障害者に対する差別や排除の原因となる社会的・環境的障壁を発見し、障害理解と共生への行動変革を促します。本講演では実際のケースを想定して、グループワークを行います。全員参加型研修です。マイクとカメラは ON でご参加ください。

② 「合理的配慮と建設的対話」

日時：令和7年1月10日（金）15時～17時30分 ※申し込み締め切り 12月27日（金）

講師：一般社団法人 MHC リサーチ&コンサルティング 代表理事 田村 三太

内容：障害者や多様性のある人々への配慮の重要性を学びます。具体的な配慮や効果的なコミュニケーション方法について考え、皆が快適に過ごせる環境を作るための実践的な技術を身につけましょう

③ 「合理的配慮に必要な知識と考え方」

日時：令和7年1月16日（木）13時～15時30分 ※申し込み締め切り 1月8日（水）

講師：一般社団法人 日本心のバリアフリー協会 代表理事 杉本 梢

内容：障害がある方への合理的配慮について必要な知識と考え方を知ることができます。公共交通機関や公共施設、障害者雇用などの様々なシーンで役立つ具体例と共にお伝えします。さらに、当事者の体験談やワークショップを通して理解を深めます。

④ 「発達障害の理解を深める」

日時：令和7年2月6日（木）13時～15時30分 ※申し込み締め切り 1月29日（水）

講師：一般社団法人 日本心のバリアフリー協会 代表理事 杉本 梢

内容：発達障害について詳しく知ることができます。また、サポート方法を具体例と共にお伝えします。さらに、当事者の経験談や疑似体験、疑似体験やワークショップを通して理解を深めます。

★通年研修案内★

①「読書研修」

時給：2時間分の時給を支給いたします。

研修書籍

- ・ 事故ル! 18歳からの車いすライフ
- ・ 弟の夫
- ・ 車椅子の横に立つ人：障害から見つめる「生きにくさ」
- ・ 対比思考—最もシンプルで万能な頭の使い方
- ・ 介護業務で働く人のための腰痛予防のポイントとエクササイズ
- ・ ALS マニュアル決定版! 〈Part2〉
- ・ ハンチバック（芥川賞&文学界新人賞受賞作）
- ・ もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら
- ・ もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『イノベーションと企業家精神』を読んだら
- ・ 賢者の書
- ・ マンガでやさしくわかる組織開発
- ・ 多様な性について知る（※こちらは1時間分の時給になります）
- ・ 太陽の仲間たちよ

②「DVD研修」

時給：1.5時間分の時給を支給いたします。

研修DVD

- ・ 映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」

③「動画研修」

時給：1.5時間分の時給を支給いたします。

研修動画 申し込み者に専用URLをお送りいたします。

- ・ 虐待・身体拘束防止研修（当社で行われた研修を録画した映像になります）

④「救命講習」

内容：普通救命講習、もしくは普通救命講習（自動体外式除細動器業務従事者）の受講

下記サイトをご確認いただき、各自で参加申し込みをしてください。申し込みが完了した方は「〇月〇日〇時から〇時の〇〇研修を申し込みました。受講費用は〇〇円です。」と人事部人財育成課までお伝えください。※受講費用、テキスト費用が発生する場合、現地払いの場合と振り込みの場合で請求方法が変わります。現地払いの場合は受講後領収証を郵送していただきます。一方、振り込みの場合は請求証、又は参加申込書など支払いの根拠になるものを郵送していただきます。

東京消防庁 <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu-adv/life01-1.htm>

公益財団法人 東京防災救急協会 <https://bj.tokyo-bousai.or.jp/>

⑤ 「TOKYO ユニバーサルウォーキング」

内容：東京都が主催していた『TOKYO ユニバーサルウォーキング』ですが、2022年度に設定された5コース、2023年に設定された5コースの計10コースのうち1コースを選んで歩いていただき、バリアフリーの観点からレポートを書いていただく研修です。新たな気づきの獲得と健康のためにバリアフリーウォーキングはいかがでしょうか。なお、東京都が主催したイベント自体は既に終了しておりますが、過去のイベントで設定されたコースと同コースを歩いてレポートを書いていただく研修となります。従いまして東京都への申し込みは不要です。

- ・2023年の5コースと2022年の5コース

<https://tokyo-universal-walking.metro.tokyo.lg.jp/course/history.html>

（上記 URL からコースをご確認のうえ、コースをご選択ください。各コースの[詳しくはこちら▶]を選択してから詳細が表示されるまで数秒かかる場合があります。）

外出介助の際、ユーザー・スタッフがどのような道を選んでいるのか、ヘルパー・スタッフはどのような配慮ができるのか、バリアフリーコースを歩くことで、普段は意識していない発見があるかもしれません。段差や傾斜、車椅子使用者や視覚障害者への配慮がなされているか、歩行者や自転車の往来の数、バリアフリーコース以外の道路との違いなど、実際のコースを歩きながら、さまざまな視点で観察し所感を書いてください。研修レポートを提出していただければ1コース0.5時間分の時給と、コース始終地点までの往復交通費を支給いたします。

※TOKYO ユニバーサルウォーキング2024が現在公開準備中となっています。詳細が分かり次第、改めて研修通信でお知らせいたします。

人事部人財育成課

担当：伊藤、江良、瀧澤口ウ、犬塚、安藤(唯)、奥隅

メール：jinzaiikusei@shogaisha.co.jp

電話：042-850-9141